

平成 29 年度第 3 回経営会議概要

1 開催日時

平成 30 年 3 月 27 日（火）12：15～14：40

2 場所

本部棟 3 階 大会議室

3 出席者

学外委員：八重樫委員、柳村委員、米谷委員、東根委員、横向委員

学内委員：遠藤委員、鈴木委員、堀江委員、齋藤委員、石堂委員

その他、各本部長、各学部長、各室長及び関係職員が出席

4 審議事項及び審議結果

(1) 平成 30 年度計画（案）及び予算（案）について

平成 30 年度計画(案)及び予算(案)について、石堂委員及び堀江委員から資料に基づき説明し、質疑を経て、原案どおり承認された。

5 情報提供

(1) 今後の本学の取組について

鈴木委員から資料に基づき説明した。

6 その他

(1) 教育研究組織の改編について

石堂委員から、資料に基づき説明した。

(2) 教職課程再課程認定申請について

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明した。

(3) 業務方法書の変更に伴う諸規程の制定等について

堀江委員から、資料に基づき説明した。

(4) 岩手県立大学開学 20 周年記念事業の実施案について

堀江委員から、資料に基づき説明した。

7 意見交換等

学外委員の意見・質問等に対する学内委員及び事務局等の回答は、以下のとおり。

- ・ **学部・短期大学部の特色に合わせた効果的な志願者確保への取組みについて**（審議事項(1)関連）

平成 22 年度の志願者実質倍率が例年よりも高い 4 倍超となったが、その理由には広報等本学の取組に起因することと、その年のセンター試験難易度や志願分野の流行等本学の取組以外の事柄に起因することとがある。受験科目を限定するなど受験生にとって受験しやすい試験内容とすることが志願者増加につながることもあるとは思いますが、入学後、大学と学生の双方に差し障りが生じないようにしなくてはならない。私立大学のような併願日程や、スケールメリットを持つ大規模大学のような PR 活動で志願者確保策を行うことは難しいが、本学の魅力や変化が受験生の認識にまで伝わるよう今後も取り組んでいきたい。

- ・ **アンケートの結果による学生の満足度等について**（審議事項(1)関連）

学生へのアンケートは、1 年次生、2 年次生及び卒業年次生に対し行っている。様々な質問項目があるが、学生の満足度を測る項目については概ね肯定的な回答が多く、特に卒業年次生アンケートにおいては、8～9 割程度の学生が満足であると回答している。

- ・ **施設大規模修繕及び情報システム整備計画について**（審議事項(1)関連）

学内情報システムについては、第 5 次情報システム整備計画に基づいてハード面の整備を中心に進めるほか、学生や教職員が使いやすいパソコンや学内ネットワーク環境の整備も検討している。

来年度には施設大規模修繕計画に基づき屋根塗装等が予定されており、今後も計画に基づき改修工事を進めていく。

- ・ **本学の教職課程の継続に伴う中学校・高等学校教諭、養護教諭、幼稚園教諭等の輩出について**（その他(2)関連）

例年の教員免許取得状況は、総合政策学部で取得できる中学校及び高校教諭免許は 3～5 名、社会福祉学部で取得できる幼稚園教諭免許は 10～15 名程度である。

開学当初は幼稚園教諭免許取得課程を設けていなかったが、保育士養成課程を修了した学生が就職活動を行う際、幼稚園教諭免許も持っていた方が有利であるとの意見

があったことから、開学4年経過以降に養成課程を設置した。このような経緯があるものの、今般の教職課程再課程認定申請における養成課程の条件等から、幼稚園教諭免許等一部の教員免許については継続が困難と判断するに至ったもの。今後はキャリアアップ等事業等も含め、保育士養成等により注力していく。